

## 欧州特許庁（EPO）、戦略計画2028に関する意見募集を開始

2023年4月18日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、2023年4月18日、戦略計画2028（Strategic Plan 2028）に関する意見募集を開始した旨、ニュースリリースにて公表した。

本ニュースリリースの概要は以下のとおり。

- ・ 今回の意見募集の目的は、現在の戦略計画2023が完了に近づいているため、ステークホルダーからの意見を集め、多様な視点を次の戦略計画（2024～2028年）に反映させるために実施するものである。
- ・ 戦略計画2028において、EPOは一つの目標である「持続可能性（サステナビリティ）」を追求する。EPOの人材、専門家集団、技術、成果物、サービス、そして発展するパートナーシップとネットワークは、持続可能な特許庁、より持続可能な特許制度、ひいてはより持続可能な社会に貢献する推進力となる。
- ・ EPOは戦略計画2023において、5つの異なる目標<sup>1</sup>に焦点を当て、この計画がほぼ成功したと考えている。未来に向けて、戦略計画2023の基本的な要素は成功に不可欠であり、戦略計画2028でもこれらの要素を中心に据える。しかし、現在置かれている状況の変化にも適応する。
- ・ 意見募集は、関心のあるすべてのステークホルダー、知的財産及びイノベーションシステムの専門家、一般市民が参加することができ、2023年5月15日まで行われ、戦略計画2028は、2023年12月に欧州特許機構管理理事会に提出され承認を得る予定である。
- ・ 意見は、[意見提出フォーム](#)を通じて、主に5つの観点毎（1. 人材（People）、2. 本拠地（Homes）、3. テクノロジー（Technologies）、4. 高品質の成果物とサービス（High-quality products and services）、5. 品質、インパクト及び知識のためのパートナーシップとネットワーク（Partnerships and Networks for quality, impact and knowledge））に、自由記入で提出することができる。

また、意見募集内の各観点にてEPO側から示されている実績や今後の方向性等について注目できる点は以下の通り。

<sup>1</sup> 1. 仕事に専念し、知識豊富でかつ協力的な組織の構築、2. EPOのITシステムの簡素化及び近代化、3. 高品質の成果物及びサービスの効率的な提供、4. グローバルな影響を与える欧州特許システム及びネットワークの構築、5. 長期的な持続可能性の確保（詳細は、欧州知的財産ニュース「[欧州特許庁、戦略計画2023を公表（2019年6月28日）](#)」を参照。）

## 1. 人材 (People)

- SP2023 の期間中、EPO への応募は 28904 名。退職を選択した同僚は 1000 人に 3.5 人程度。
- 職員は年間 60 日を職場にて過ごし、EPC 加盟国から年間 60 日までリモートワーク が可能。

## 2. 本拠地 (Homes)

- パンデミック以降、オフィスの概念は大きく変化。EPO はハイブリッドな職場となり、もはや業務遂行を建物に依存することはなくなった。
- 特許付与プロセスはほとんどペーパーレス化し、職場は物理的なものから仮想的なものへと移行した。
- 建物の稼働率は低下したが、建物は職員のエンゲージメントを維持し、対面でのコラボレーションやネットワークを支援するツールになり得る。
- 我々の「Strong Together」イントラネットサイトは、2020 年 3 月から 2023 年 4 月に 100 万回近く閲覧され、EPO のイントラネット読者数として過去最高となった。
- 戦略計画 2028 では、ユーザーとともにオンラインコミュニティを更に発展させる。

## 3. テクノロジー (Technologies)

- 戦略計画 2023 の期間に、メインフレームからクラウドベースに移行。
- 戦略計画 2028 において、テクノロジーを利用するオフィスから、プロセスの最初から最後までシームレスにテクノロジーに組み込まれたオフィスへの移行を完了する。これらすべてのプロセスにユーザーが含まれることによりユーザーに利益をもたらす。

## 4. 高品質の成果物とサービス (High-quality products and services)

- 戦略計画 2028 では、品質という概念について、ユーザーとの対話を強化する必要がある。品質とは、共通の責任であり、共通の理解が必要であるため、意見を聞き、ニーズに応える必要がある。

## 5. 品質、インパクト及び知識のためのパートナーシップとネットワーク (Partnerships and Networks for quality, impact and knowledge)

- AI のような新しい課題への対応は、IP5 のようなフォーラムでの共同アプローチにより、より強力なものとなっている。
- 戦略計画 2028 では、欧州特許ネットワークにおける協力関係の強化を引き続き模索し、加盟国を支援し、IT 協力を強化する。EPO が加盟国に変わって検索を実施できる枠組みを活用できるようにする。
- イノベーションと特許における時事的な課題や緊急の課題に関する対話は、観測部門 (Observatory) のようなプラットフォームによって促進される。

前回の戦略計画 2023 の策定時には、2019 年 1 月に最初の意見募集を行い、同年 4 月に戦略計画 2023 の案を公表し、戦略計画案自体に対する意見募集を経て、6 月の欧州特許機

構管理理事会で戦略計画 2023 が採択・公表された。今回も、この最初の意見募集に引き続き、今後戦略計画 2028 の案に対する意見募集の実施を経て、上記のニュースリリース通り、12 月の欧州特許機構管理理事会での採択を目指すものと考えられる。

— EPO のニュースリリース等は、以下参照 —  
(ニュースリリース)

[Public consultation on the EPO's next Strategic Plan \(SP2028\)](#)

(意見募集)

[Public consultation on the EPO's Strategic Plan 2028](#)

(意見提出フォーム)

[Have your say in our public consultation](#)

— EPO の戦略計画に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 —  
➤ [欧州特許庁、戦略計画 2023 を公表（2019 年 6 月 28 日）\(PDF\)](#)  
➤ [欧州特許庁、戦略計画 2023 に関する最終的なパブリック・コンサルテーションを開始（2019 年 4 月 25 日）\(PDF\)](#)  
➤ [欧州特許庁、戦略計画 2023 に関するパブリック・コンサルテーションを開始（2019 年 1 月 28 日）\(PDF\)](#)  
(以上)